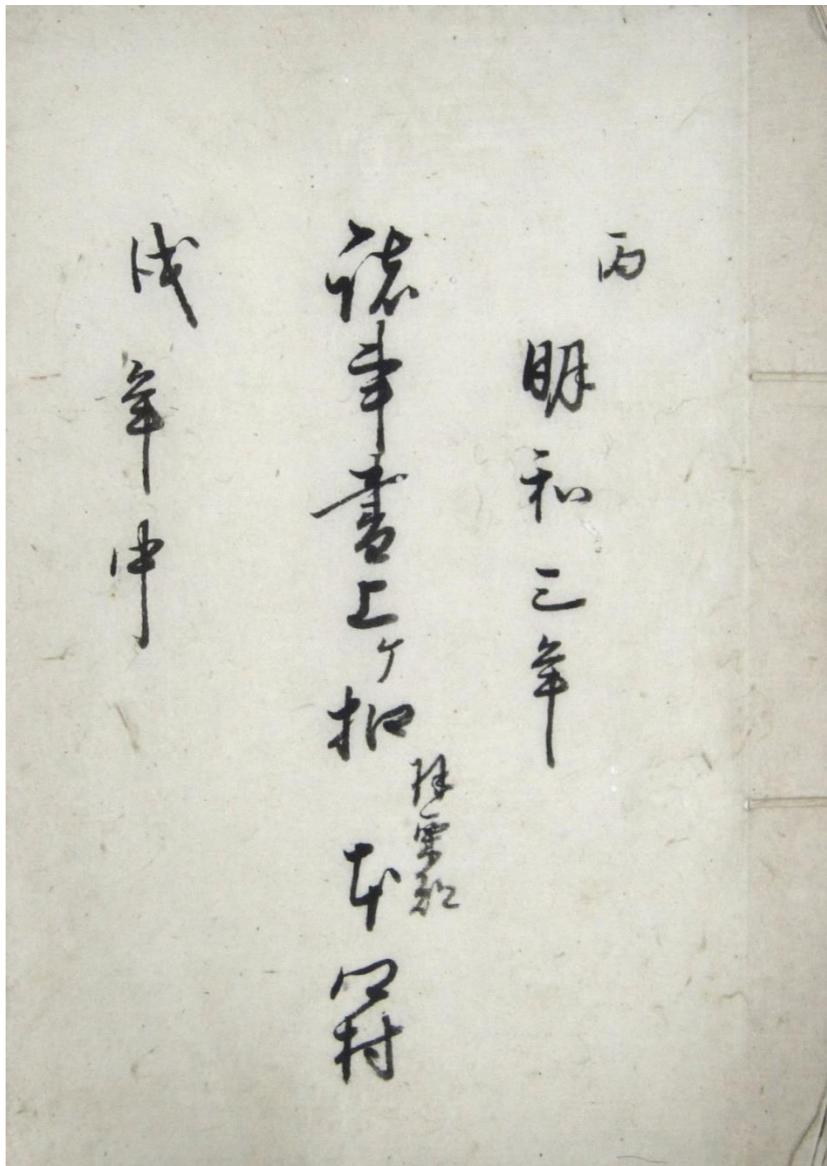


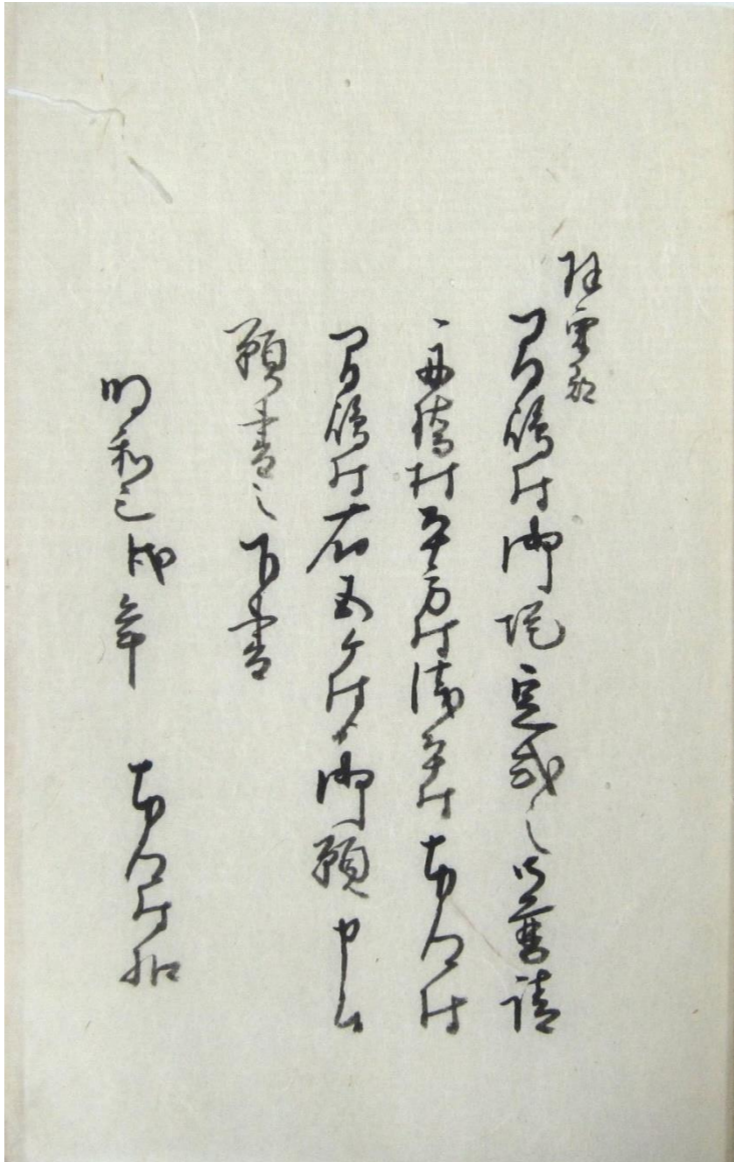
【史料一】『明和三年丙戌年中 諸事書上ヶ控』表紙



明和三年丙戌年中

諸事書上ヶ控 羽栗郡本郷村

【史料二】同 控書



羽栗郡

間島村御堤定式之御普請、

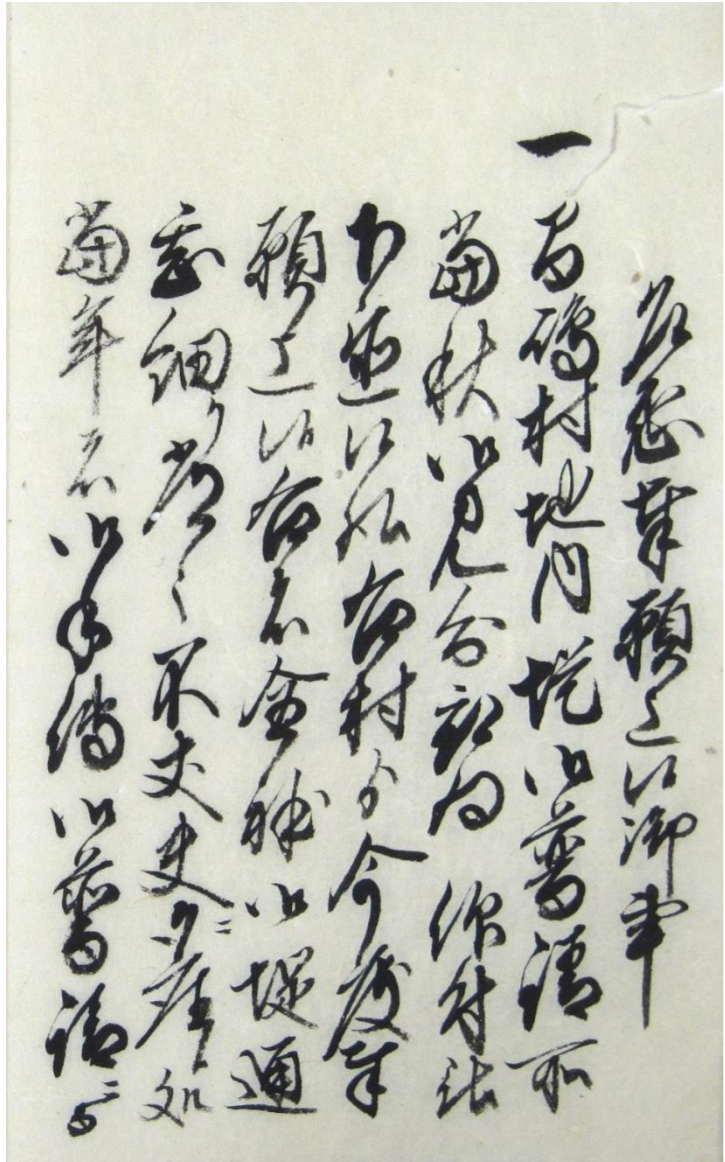
舟橋村・平方村・浅平村・本郷村・

間島村右五ヶ村より御願申候

願書之下書

明和三戌年 本郷村控

【史料三】同 明和三年六月 五か村より郡奉行所宛願書



乍恐奉願上候御事

一間島村地内堤御普請所、

当秋御見分被為仰付、被

下置候様、右村より今度奉

願上候、右者、全体、御堤通

甚細ク常々不丈夫ニ御座候処、

当年者、御手伝御普請ニ而、

御料所御堤所々川々共
 御普請出来仕候処ニ、右之通、
 間島村之儀者、惣堤低細
 にて、此上出水之節ハ、甚無
 覚束奉存候、若切損等有
 之候而ハ、私共村々共必至ニ
 水損及亡所ニ可申と、千万

歎ケ敷奉存候間、何卒今度
 間島村より御願被申上候通、
 不残御普請被為仰付、
 被下置候様、奉願上候、尤、少
 村ニ大分之御普請ニ御座候へ共、
 五ヶ村割合ニ而、丈夫ニ御普請
 出来仕候様仕度、奉願上候、

被為聞召分、願之通被為
 仰付、被下置候ハ、難有可
 奉存候、以上

間島村 小伝次
 庄屋 平方村 八左衛門
 本郷村 善六
 郡御奉行所 庄屋 舟橋村 吉右衛門
 庄屋 浅平村 忠右衛門

尾崎友治初様

浅平村 忠右衛門

尾崎友治郎様

浅平村 庄屋 忠右衛門